

# 一気通貫の臨床研究を受託

## 産業の橋渡しで新規事業も

DOT(ディー・オー・ティー)ワールドは、今年1月にDOT(ドット)インターナショナルから社名を変更し、臨床研究に強いCROとしての新たなスタートを切った。日本に拠点を持たない海外ベンチャーの治験国内管理人、再生医療案件など着々とビジネスの幅を拡大しており、特に従来から事業基盤を構築している臨床研究では「一気通貫で業務を受託できる体制が整った。折戸哲也社長は、「身の丈に合ったビジネスを展開していく」と堅実な経営方針を強調するが、「臨床研究の支援で長年培ったノウハウを生かして、アカデミアのシーズを製薬企業に紹介する『橋渡し』の役割も担えるのではないか」とCROの枠にとらわれない新たなビジネスも模索している。

### DOTワールド

DOTは、昨年に10周年を迎え、モニタリングを中心に、医師主導治験やアカデミアの支援を通じて実績を積み重ね、ノ

ウハウや知見といった形となっており、折戸氏は、「10年を経て、『ドット』の名前も定着したが、今

後も新たな顧客、特に海外の顧客と取引していくに当たり、『ディー・オー・ティー』の方が親しみやすいのではないかと考えた」と社名変更の理由を語る。新しい社名には親会社のワールド



折戸氏

ホールディングスの名前が入り、ロゴも親会社と共通のものになった。

新たなスタートを切ったが、現状の課題は昨年引き継ぎ入りのリソースの確保。今年4月から新卒5人が入社し、現在社員数110人、CRA60人体制となっているが、「社員数200人、CR

A150人規模まで持つていきたい」と規模の拡大に意欲を示す。国際共同治験の日本パートナーを受託する機会が増加し、癌領域など難易度の高い臨床試験が主流になってくる中で、ある程度の社員数が必要と考えている。

そこで、DOTでは、大手製薬企業における臨床開発の部長経験者2人を採用し、マネジメント体制を強化した。DOTは新卒採用がメインであり、時間を要してもゼロから自社で人材を育成していくことに注力しているが、マネジメントを担う2人の入社により、育成の質を高め、規模拡大を加速させる足がかりにしたいと考えた。

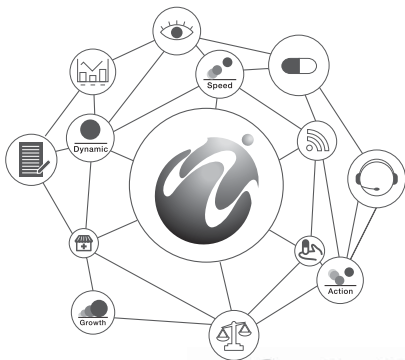
強固なマネジメント体制の構築に加え、試験の一括受託体制も強化して

いく。モニタリング以外にも、データマネジメント(DM)や統計解析、メディカルライティングを、本格的に5年前から受託するようになり、「現在になって形になった」と語る。最近では兼業コンサルティングの依頼も増加し、治験国内管理人の受託体制も構築。「臨床研究では、ワンストップで受託できる体制となっている」と自信を示した。

特にベンチャー企業の支援に本腰を入れる。日本に拠点を持たないベンチャーや中小規模のCROからも様々な相談を持ちかけられているという。「ベンチャーの顧客は増加傾向で、医薬品だけでなく医療機器のコンサルタントも行って

たビジネス」として、幅広く柔軟にサービスを提供することで、大規模な試験をフリーワード契約で受託する大手CROとの差別化を図っている。地に足のついた堅実な事業方針が特徴のDOTだが、長年培ったノウハウを新規事業へ活用していく将来的なビジョンも描いている。また検討段階ではあるが、アカデミアの支援を通じた知見を、トランスレーションリサーチに生かすことを模索している。製薬各社のオープンイノベーションが加速し、外部の創業シーズに需要が高まっている中で、10年以上にわたり臨床研究の支援を行ってきたDOTだからこそ展開できる、新たなビジネスチャンスに期待を寄せる。

## DOTワールドは臨床開発・臨床研究支援のCROです



私たちDOTワールド株式会社は、各種臨床試験のモニタリング業務を中心に、治験相談、臨床試験運営、データマネジメント、統計解析、メディカルライティング、監査など、臨床試験プロジェクトをスピーディかつ効果的にサポートします。



DOTワールド株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 NBFコモディオ汐留4F  
TEL.03-3433-6060 FAX.03-3433-6161 <http://www.crodot.jp/> MAIL:info@crodot.jp

